

平成26年度 事業報告

社会福祉法人 博友会

目 次

・施設の概要	2
・社会福祉法人 博友会	3
・特別養護老人ホーム白雪	4
・とらのこ保育園	12
・特別養護老人ホーム高砂	15
・フジ高砂クリニック	19
・特別養護老人ホーム・高齢者住宅なでしこ	22
・特別養護老人ホーム・ケアハウスすずらん	28

施設の概要

法人名 社会福祉法人博友会
住 所 静岡県御殿場市川島田字南原270番地

第一種社会福祉事業 特別養護老人ホーム 白雪 (定員120名)
特別養護老人ホーム 高砂 (定員80名)
特別養護老人ホーム なでしこ (定員29名)
特別養護老人ホーム すずらん (定員150名)
ケアハウス すずらん (定員100名)

第二種社会福祉事業 短期入所生活介護 白雪 (定員20名)
デイサービスセンター 白雪 (定員30名)
デイサービスセンター 高砂 (定員15名)
短期入所生活介護 百寿 (定員44名)
とらのこ保育園 (定員90名)
地域子育て支援拠点事業 プチとらパーク
一時預かり保育
短期入所生活介護 すずらん (定員30名)
デイサービスセンター すずらん (定員30名)

公益事業 白雪居宅介護支援センター
高砂居宅介護支援センター
フジ高砂クリニック
サービス付高齢者向け住宅なでしこ

沿革

平成17年2月 法人設立認可
平成18年1月 特別養護老人ホーム 白雪 設置認可
平成18年2月 特別養護老人ホーム 白雪 開設
(定員:入所120名 ショートステイ20名 デイサービス15名)
平成19年4月 デイサービスセンター 白雪 定員30名に増員
6月 白雪居宅介護支援センター 開設
平成22年4月 とらのこ保育園 開設 (定員90名)
短期入所生活介護 百寿 開設 (定員44名)
平成23年5月 特別養護老人ホーム高砂 開設 (定員:入所80名 デイサービス15名)
高砂居宅介護支援センター 開設
フジ高砂クリニック 開設
平成24年5月 地域密着型特別養護老人ホームなでしこ 開設 (定員29名)
サービス付高齢者向住宅なでしこ 開設 (定員52名)
平成24年9月 特別養護老人ホームすずらん 開設
(定員:入所150名 ショートステイ30名 デイサービス30名)
ケアハウスすずらん 開設 (定員100名)
平成26年8月 すずらん鍼灸治療院 開設

法人事業報告

- 4月 1日 理事会・評議員会
議事 役員の委嘱について
理事長互選について
理事長職務代理者指名について
新規事業について
- 4月 16日 社会福祉法人監事監査研修会
- 5月 17日 監事監査
業務執行状況及び財産状況について監査実施
理事会・評議員会
議事 平成 25 度事業報告について
平成 25 度決算報告について
定款変更について
経理規程の変更について
- 11月 29日 理事会・評議員会
議事 施設の長の任免について
平成 26 年度第一次補正予算について
認定こども園新規事業について
山中湖村診療所の運営について
就業規則、給与規程の改定について
- 3月 14日 理事会・評議員会
議事 平成 26 年度第二次補正予算について
施設の長の任免について
理事の選任、委嘱について
平成 27 年度事業計画について
平成 27 年度当初予算について
ケアハウスやまぼうし完成報告について
小山町認定こども園について
すずらん託児所の運営について
経理規程の変更について

特別養護老人ホーム白雪 事業報告

1. 利用者の状況

平成 27 年 3 月末現在

●特別養護老人ホーム(入所)白雪

介 護 度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
御殿場・小山	16	19	28	17	11	91	2.9	73
裾 野	3	1	2	2	1	9	2.7	18
そ の 他	3	8	4	1	4	21	2.6	22
合 計	22	28	34	20	16	120	2.8	113

●短期入所生活介護(ショートステイ)白雪

介 護 度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	0	0	11	12	13	10	3	50	2.6

●通所介護(デイサービス)白雪

介 護 度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	4	11	37	23	11	4	0	90	1.5

●居宅介護支援センター白雪

介 護 度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	0	0	86	41	34	21	6	188	2.0

●短期入所生活介護(ショートステイ)百寿

介 護 度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	0	1	11	15	21	16	6	70	2.8

2. 利用者・家族との連携

利用者に快適な生活をしていただくために、利用者本人はもとより、利用者家族に施設へのご理解をいただき、また、率直なご意見をいただくため、日頃より家族とのコミュニケーションを図るよう努めた。

●家族会活動状況

6月29日	施設周辺の草取りボランティア	施設周辺の草取りを職員と協同して行った。 参加人数 ご家族 37名 職員 52名
-------	----------------	---

●面会の状況

月	月延べ 件数	1日平均 件数	月	月延べ 件数	1日平均 件数
4	733	24	10	559	18
5	677	22	11	734	24
6	550	18	12	549	18
7	569	18	1	733	24
8	694	22	2	727	26
9	632	21	3	798	26
			平均	662.9	21.8

●外出・外泊状況

月	件数
外出	238
外泊	53

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域との交流を図る為、地域交流スペースの地域開放を積極的に行った。

8月に行った納涼祭では、地域住民にも参加を呼びかけ、地区役員、婦人会とともに利用者、家族が盆踊りなどを行い交流を深めた。

●地域交流スペース利用状況

月	内 容
4	10日 日本善行会会議 22日 ふじかわ健歌謡ショー
5	10日 アールグレイ演奏会 17日 日中友好協会総会
6	3日 衣類販売 7日 大正琴演奏会 17.18日 御殿場さつき盆栽会
7	12日 七夕カラオケ大会 31日 ふじかわ健歌謡ショー
8	9日 アールグレイ演奏会 10日 納涼祭
9	12日 敬老会 19日 すぎのこ大正琴 20日 ユニット発表会
10	12日 語りの会 30.31日 文化展
12	6日 すぎのこ大正琴 12.13.20日 クリスマス会
2	18日 ふじかわ健歌謡ショー 21日 ユニット発表会

※ 毎週火・木・金曜日 日本語教室

4. 情報公開の取り組み

玄関入口及び各階エレベーター付近に重要事項説明書の掲示を行っている。また、事業報告書、決算書、事業計画書、予算書をホームページに公開するとともに、受付にて回覧に供している。

5. 苦情解決の取り組み

玄関前及びデイルーム前にご意見箱を設置。

平成26年度 ご意見箱件数 2件

口頭による苦情 3件

- ・トイレにすぐに連れて行ってもらえなかった。
- ・退所時の荷物に他の方の衣類が入っていた。(2件)

6. 主な年間行事

本年度は外出する機会を増やすことや、地域参加型の行事計画に努めた。

月	行事内容
4	上旬 お花見鑑賞会
5	31日 バーベキュー
6	13日 朝日小学校交流会 11.12日 さつき展・お茶会
7	1～7日 七夕 12日 カラオケ大会 19日 杉名沢区盆踊り交流
8	10日 納涼祭
9	12日 敬老会 27日 御殿場市ふれあい広場
10	30.31日 文化祭
11	上旬 紅葉観賞 28日 朝日小交流会
12	12.13.20日 クリスマス会
2	1日 開設記念行事 4日 朝日小学校感謝会

7. クラブ活動の状況

クラブ活動指導員(ボランティア)による様々なクラブ活動を定期的に行ってきた。すでに定番化し、活動日を楽しみにされている利用者も多い。

利用者に季節を感じていただけるよう、期間限定で季節性のあるクラブ活動も行った。

内 容	指導員数	年間回数	延べ参加人数
カラオケ	3	96	1,003
体操教室	1	40	1,148
映画鑑賞	1	21	162
詩吟教室	1	21	283
絵手紙教室	1	9	53
紙芝居	1	9	47
書道	1	32	228

8. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月第2月曜日

出席者：施設長、事務長、主任、ユニットリーダー、百寿、デイ、看護師、栄養課、
営繕、機能訓練指導員の各リーダー、相談員、居宅管理者

開催日	主 な 議 題
4月14日	・リーダー業務について ・超過勤務について ・タイムカードについて ・ユニット会議録の提出について ・実習生受入れについて ・各部所連絡事項
5月12日	・転倒事故について ・身だしなみ、言葉使いについて ・環境整備について ・家族会奉仕作業について ・各部所連絡事項

開催日	主 な 議 題
6月9日	・家族会草取り作業について ・実習生の受け入れについて ・超過勤務整理簿について ・物品の配布方法について ・各部所連絡事項
7月14日	・ケアプランの見直しについて ・実習生の受け入れについて ・シーツ交換について ・各部所連絡事項
9月7日	・ユニットケアとは ・感染対策について ・勉強会の参加について ・賞与ヒヤリング ・実習受入について ・各部所連絡事項
10月14日	・排せつパターン表提出について ・情報収集について ・介護職員初任者研修について ・実習生、職場体験について ・各部所連絡事項
11月10日	・中学生職場体験受け入れについて ・ユニット業務マニュアルについて ・年末年始業務について ・各部所連絡事項
12月8日	・勤務表の作成について ・ユニット業務について ・年始あいさつについて ・年末年始の理美容室使用状況について ・各部所連絡事項
1月13日	・残務について ・超過勤務整理簿について ・基本介護とは ・清掃について ・感染時期の清掃や処理方法について ・各部所連絡事項
2月9日	・自己評価票について ・新年度に向けての整理について ・来年度予算について ・各部所連絡事項
3月9日	・自己評価票について ・新年度にあたり ・各部署連絡事項

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：各ユニット職員、主任、看護師、機能訓練指導員、生活相談員、栄養士

主な議題：利用者の状態について、他職種の意見も交え、統一したケアができるよう話し合いを行った。

9. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議、勉強会にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
4月16日	社会福祉法人監事監査研修	監事	1
4月23日	請求事務説明会	事務員	2
5月21日	安全運転管理者講習会	運転手	1
6月9日	認知症の人のためのレクリエーション	介護員	1
6月9日	認定調査員新任研修	介護支援専門員	2
6月10日	感染症講座	介護員	1
7月22日	介護職中堅職員研修	介護員	1
8月1日	薬の基礎知識	介護員	1
8月8日	第6回高齢者福祉研修大会	介護員 相談員 機能訓練指導員 調理師 介護支援専門員 事務員 営繕職員	4 1 1 1 2 3 1

月 日	内 容	職 種	人数
9月 4日	ターミナルケア入門	看護師 介護員 栄養士	1 1 1
9月 5日	肝炎医療従事者研修会	看護師	1
9月17日	安全運転管理者講座	営繕	1
9月25日	介護保険サービス集団指導	介護長 相談員 事務員 介護支援専門員	1 2 1 1
10月 8日	感染症講座(中級編)	介護員	1
10月22日	高齢者の皮膚ケア講座	介護員	1
10月27日	ストレスマネジメント講座	介護員 事務員	1 1
10月27日	税務実務講座	事務員	2
10月31日	施設防災の日見学	介護員	2
12月 8日	沼津地区雇用管理セミナー	施設長	1
11月20日	介護に役立つカラーコーディネート	機能訓練指導員	1
12月19日	急変を見逃さないための救急講座	介護員	2
1月27日	静岡県給食協会事例研究発表会	栄養士	2
2月12日	外国人労働者適正雇用セミナー	事務員	2
2月18日	介護保険改正セミナー	事務員	1
3月20日	障害児・者施設集団指導	生活相談員	1

10. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
業務改善	業務改善の考案・改善・能率向上の為に職員から提案を提出していただき、採用案件について取り組み実施していく。 採用提案実施のサポートを行う。	前・後期でそれぞれ提案月間、審査会、褒賞式を行った。 前期提案件数11件。うち採用9件。後期提案件数6件。うち採用6件。委員会のサポートがなくても業務改善を提案者が自発的に行っている。	反省： ・委員会の横の連携がうまくとれなかった。 課題： ・職員が意識をもって、業務改善案を積極的に投函できるよう働きかけをしていく。
広 報	白雪での行事や日常生活の話題を「白雪新聞」や「アブニール」等を通じて、利用者様やご家族様、職員、地域の人々に提供する。 施設内掲示板の管理、整理整頓を行う。	毎月白雪新聞を発行。内容は行事関連、季節の便り、利用者様の活動紹介、季節の歌など。虎ノ門グループ誌「アブニール」に活動報告を掲載。 全国老人施設協議会フォトコンテストに参加。4作品が入賞した。	反省：フォトコンテストは文化展でも行っていく。利用者様やご家族に掲載の都度ご連絡し了解を得ていた。 課題：行事の写真は広報で撮影していく。掲載同意書を作成し、利用者提出していただく。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
行事	毎月の行事を通して利用者に季節を感じていただき、施設での生活を楽しんでいただく。また地域行事に参加し、地域と交流を持つ。	行事開催日 4月上旬各ユニットお花見 5/31 バーベキュー会食会 6/1 ご家族とバーベキュー会 6/17.18 さつき展 6/13 朝日小学校交流会 7/12 七夕カラオケ大会 8/10 納涼祭 9/12 敬老会 9/27 御殿場市ふれあい広場 10/23.24 文化展 11月上旬紅葉鑑賞 12/12.13.20 クリスマス会 2/5 開設記念	反省： ・家族参加や外部参加の行事は早めに計画を立てた方がよかった。 課題： ・冬期は感染症の流行する時期なので、行事の方法を考える。(朝日小交流会、餅つき、初詣でが中止となった。)
感染対策	施設内の感染防止のための計画立案。職員教育、研修等必要な措置に実施。環境が起りにくい環境作り。	勉強会の実施： 6月：雨季感染症、食中毒、皮膚感染症について 11月：ノロウイルス・インフルエンザについて アンケートの実施： 8月に全職員対象に行う。 ポスターの掲示： 5月～施設内31ヶ所に食中毒、11月～ノロウイルス・インフルエンザについて掲示 物品チェック： 爪ブラシ、感染予防ブラシ等と手洗い指導。マスク、消毒液など冬季感染予防用品の確認。	反省： ・12月ノロウイルスが発生、又12～1月インフルエンザが発生した。勉強会では実践的な勉強ができなかったため、実際発生したときの退所として、手洗い、ガウンテクニックの実技を行っていきべきだった。 課題： ・物品の保管場所の検討。 ・空気清浄機の管理方法を考える。
事故対策 抑制禁止	介護事故を防止し安全で且つ適切に質の高い介護を提供する体制を確立する。また安全な介護の提供により利用者様との信頼関係を構築し、トラブルの防止に努める。スピーチロック防止に努める。	・緊急事故対策会議への参加及び議事録の掲示。 ・ひやりはっとシートの回収集計。 ・タッチコール、衝撃緩和マット、L字バーの管理。 ・離設注意利用者様の周知。 ・保険者への事故報告(ヒヤリはっと件数は別表) 勉強会を2回開催 8/28 タッチコールの使い方と記録の仕方 1/29 スピーチロックについて 行政報告 24件	反省： ・ひやりはっとと事故の区別が浸透していない。 ・ひやりはっとに // 内容のものが繰り返されているものがあり、対策の不十分さと働きかけが足りなかった。 課題： ・委員一人ひとりが自覚し活動を広げていかないと、意識が浸透しない。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
教 育	職員の業務上必要な知識、技術の向上を図る。また、施設内外の発表を積極的に行い、職員のスキルアップに繋がるように勉強会や研修等を企画する。	勉強会内容 4/7.28 心肺蘇生、AED使用方法 5/8.22 急変を見逃さない為に 6/7.28 食中毒対策法 6/19 認知症を理解する(グループ合同研修) 7/24 高次脳機能障害とは 8/28 離床センサー・衝撃緩和マットの使い方と記録の仕方 9/20 ユニット発表会 10/9 嚥下障害とは 10/23 認知症の方の為のレクリエーション 11/13.27 秋・冬期感染症対策 12/4 口腔乾燥ケア 1/15.29 スピーチロック対策 2/28 ユニット発表会 3/12 新任職員勉強会 3/26 委員会活動報告会	反省： ・ユニット発表会の際、ご家族にも参加していただいたが、専門用語(ADL, ST等)での説明ばかりしてしまったため、ご家族からご指摘をいただいた。研究発表などでも同業者のため通じてしまうため、用語のついては気にかけていなかった。 課題： ・知識だけでなく、実際感染症が発生した際の実践方法について学ぶ。またすぐに見ることができるマニュアルが必要。
安全衛生	労働安全法に基づいて、職場における職員の安全と健康を保持し、快適な職場環境の形成を促進する。	毎月安全管理チェック 毎月給食従事者の検便 6/4、11/18 マットレス乾燥 8/25.27 職員定期健康診断 9/4.10.17 利用者健康診断 10/27 福祉職場のストレスマネジメント講座参加 11/21 ストレスマネジメント講座報告会 2/18.25 特定業務従事者健康診断(深夜業) 12/11～ユニット大掃除チェック 環境整備ポスター掲示	反省： ・外部講師によるメンタルヘルス研修ができなかった。 ・腰痛予防の対策がしっかりできなかった。 課題： ・外部講師を招いてメンタルヘルス研修を行う。 ・職員の腰痛予防体操が習慣化するよう、毎月体操を行っていく。 ・測定器使用による環境整備を徹底し、環境状態の分析と改善をおこなう。
園芸・飼育	・美化活動 ・花を見て、四季を感じて頂く。 ・飼育活動を行い、動物を見て触れ合いながら楽しんで頂く。	・園芸活動 白雪、百寿周辺の草取り、花植え、水撒き、花壇整備、追肥 ・飼育活動 日常飼育、飼育小屋の内、外周りの清掃	反省： ・1階の中庭の花壇整備が未実施。 課題： ・羊の毛刈りができなかった。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
防 災	<ul style="list-style-type: none"> ・火災等人的災害の予防と地震等の自然災害時の救助および、被害の軽減を図る。 ・生活のいろいろな場面を想定して訓練を行う。 ・防災用具等の使用方法と効果を認識する。 ・毎月消防署へ訓練計画、訓練報告の実施。 	<p>4/9 防災設備の説明と使用方法。防災教育。20名参加</p> <p>5/21 非常階段を使用した避難誘導訓練。49名参加</p> <p>6/18 防災用具の点検、使用方法の確認と実施。26名参加</p> <p>7/16 消火訓練。11名参加</p> <p>8/20 避難訓練。26名参加</p> <p>9/26 一斉防災訓練(夜間呼集訓練) 74名参加</p> <p>10/15 防災用品、備蓄食品の点検整理。5名参加</p> <p>11/5 施設防災訓練、各ユニットの防災訓練(百寿で総合訓練)26名参加</p> <p>12/3 非常用滑り台を使用した避難訓練。11名参加</p> <p>1/21 自然災害(主に大雪災害)の備え。7名参加</p> <p>2/18 防災訓練(1F)。11名参加</p> <p>3/18 防災訓練(3F)。10名参加</p>	<p>反省:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震想定訓練の実施 ・参加者を増やす <p>課題:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防法の変更により、緊急通報の方法が変わるため、経過措置年度ではあるが、新たな通報装置の導入について予算計上など検討し準備していく。 ・緊急呼集の際のメールによる一斉送信伝達方法の理解と協力の働きかけ。 ・防災機器の取扱いの周知。 ・地域との連携による合同訓練を行う。
給 食	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養課業務の改善及び、食事内容の充実を図る。 ・特別メニューの充実。 ・「白雪レストラン」の発行継続。 	<p>毎月、給食日より「白雪レストラン」の掲示と配布。</p> <p>刻み食の改善アンケートを実施。6ユニットが改善できた。</p> <p>実施献立からの改善考察により改善できた内容:刻み食のひき肉のばらつきやムラをなくすためひき肉使用を中止し、刻み方を変更。</p> <p>パン粥の統一。麺ペーストの改善。</p> <p>鯖が不人気のため鱈へ変更。</p> <p>魚料理のパスつきをなくすため、だし汁に漬け込む方法によりパスつきが減少。</p>	<p>反省:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実演の手洗いチェッカーが好評だった。全員が経験できるようにしていく。 <p>課題:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニット調理を積極的に行っていく。 ・嗜好調査をメニューに生かす。 ・特別メニューの検討。
看 取 り (こもれびの会)	<p>看取り体制の充実を図り施設全体で質の高いケアを目指し実践していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看取り件数2件。あわせて偲びのカンファレンスを5月、7月に開催。 ・状態変化時の連絡網の作成。 ・95歳以上のご長寿マップの作成。 ・看取り後の満足度アンケート作成 	<p>反省:アンケート作成など新しいことに取り組めた。施設で看取りを行っていることを、家族に周知していく必要性を感じた。</p> <p>課題:どのタイミングで家族に看取りの話をしていくのが難しい。もう一度ターミナルケアの流れについて考える必要がある。</p>

とらのこ保育園 事業報告

1. 利用状況

入所児童数：定員 90 名

月	乳児	1・2歳児	3歳児	4歳児以上	合計
4	2	27	16	31	76
5	3	27	16	31	77
6	6	28	16	31	81
7	7	29	16	31	82
8	8	29	16	31	84
9	9	27	16	31	83
10	10	28	16	31	85
11	10	28	16	31	85
12	10	28	16	31	85
1	10	26	16	31	83
2	10	27	16	31	84
3	10	25	16	31	82
合計	95	329	192	372	988

事業名	延べ利用人数
一時預かり保育	1,487人
延長保育	374人
休日保育	101人
病後児保育	24人

2. 主な年間行事

月	内 容
4	3日 入園式 16日 幼年消防任命式（年長児）
5	15日 救助隊見学（年長児） 30日 春の親子遠足
6	11日 保育参観・懇談会 26日 交通安全教室 30日 プール開き
7	3日 花火教室 7日 七夕の集い 19日 とらのこまつり 31日 卒園児との集い
8	29日 プール閉め
9	21日 運動会
10	3日 秋の遠足 17日 防火パレード 27日 交通安全教室 28日 ハロウィン
11	6日 芋ほり 7日 焼き芋 14日 七五三を祝う会
12	13日 クリスマス発表会 19日 もちつき大会
1	26日 保育参観
2	2日 節分の会 4日 消防修了式（年長児）
3	2日 雛祭り 6日 お別れ遠足 9日 交通安全教室 13日 お別れ会 22日 卒園式

3. 会議開催の状況

●代表者会議

開催時期：毎月第1水曜日

出席者：園長、主任保育士、各クラス代表保育士

開催日	主 な 議 題
4月9日	・各クラス・一時の問題点 ・委員会連絡 ・研修予定 ・備品について
5月16日	・各クラスの問題点 ・委員会連絡 ・保育参観について ・勤務について
6月11日	・各クラスの問題点 ・委員会連絡 ・運動会について ・勤務について
7月10日	・各クラスの問題点 ・とらのこまつりについて ・運動会について
9月10日	・各クラスの問題点 ・保護者会報告 ・遠足について ・研修について
10月3日	・秋の遠足について
11月7日	・各クラスの問題点 ・実習生について ・防災訓練等その他行事について
1月7日	・各クラスの問題点 ・感染症について ・委員会連絡 ・行事について
2月10日	・各クラスの問題点 ・委員会連絡 ・卒園式について ・次年度行事について

●全体会議

開催時期：毎月第4水曜日 出席者：全職員

開催日	主 な 議 題
4月1日	・行事予定の内容、連絡 ・各委員会の事業計画 ・保育指導計画 ・その他
4月23日	・行事予定の内容、連絡 ・各委員会の事業計画 ・とらのこまつりについて
5月28日	・保育参観、プール開き、とらのこまつりについて ・勤務表について
6月25日	・5月の行事反省 ・とらのこまつり、七夕、運動会について ・各委員会より
7月23日	・6月の行事反省 ・防災訓練、運動会について ・各委員会より
9月1日	・7～8月の行事反省 ・防災訓練の反省 ・敬老会、遠足、運動会について
9月24日	・9月の行事反省 ・秋の遠足、保育の会、入所予定について ・各委員会より
10月22日	・10月の行事反省 ・発表会、芋ほり、七五三について ・各委員会より
11月26日	・11月の行事反省 ・餅つき、クリスマス発表会について ・各委員会より
12月24日	・12月の行事反省 ・保育参観について ・各委員会より
1月23日	・1月の行事反省 ・保育参観、節分の会、人形劇、卒園式、お別れ会について
2月25日	・2月の行事反省 ・ひな祭り、お別れ遠足、卒園式、入園式について ・各委員会
3月28日	・3月の行事反省 ・卒園式、入園式について ・次年度の行事等確認

4. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議等にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
4月24日	静岡県保育所連合会総会・施設長研修会	園長	1
5月15日	静岡県保育所連合会東部支部総会・施設長研修会	園長	1
5月16日	静岡県保育士会総会・研修	主任保育士	1
5月21日	第55回静岡県保育研究大会	園長・保育士	3
5月24日	静岡県保育士会東部「睦会」総会	主任保育士	1
6月4日	静岡県保育士会青年部総会・研修会	保育士	1
6月10日	静岡県保育士会研修会	保育士	2
8月4日	チャイルドサマーセミナー	保育士	2
8月7日	児童福祉施設におけるクッキング講座	栄養士	1
8月10日	発達障害 医療の現場から	保育士	1

月 日	内 容	職 種	人数
10月 4日	保育の日研修会「睦会」	主任保育士・保育士	2
10月 18日	東京おもちゃまつり	保育士	1
10月 30・31日	民間園長研修会	園長	1
11月 5・6日	主任研修	主任保育士	1
1月 22日	施設長研修	園長	1
2月 28日	静岡県保育所連合会東部支部青年部主催研修会	保育士	2

5. 委員会事業報告

保育園独自で委員会を編成して2年目の活動を行った。毎月1回委員会を開催し、職員への要望などを職員会議にて報告して委員会の充実を図る。

委員長が必要性を認める場合は園長が委員会に参画し、運営の充実を図った。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
保健衛生	病気の対応、環境衛生の管理を定め、園児の健康保持・増進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・主救急箱および各クラスの救急箱の管理 ・救急処理セットの確認・補充 ・消毒液の回収・補充 ・感染罹患シート回収・集計 ・掲示板にを設置して、定期的に感染症や衛生管理の手洗いの仕方等を掲示する。 ・感染予防講習会参加 ・園児への保健指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の反省を活かし、健康管理について保護者だけでなく園児へも促すことができた。そのため家庭にて健康についての会話も広がったようである。
環 境	<p>人・物・場等の環境が相互に関連し合い、子どもの生活が豊かになるよう計画的に構成する。</p> <p>保育環境の整備、向上とともに、施設内外の設備遊具等の管理をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・用品、備品、教材等の管理、教材室の整理、整頓。 ・園庭遊具の安全確認。 ・定例委員会後に教材庫の見回りをする。 ・ヒヤリハットの管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・月に2回の物品発注が習慣化してきた。 ・環境チェックシートをうまく活用できた。 ・今年度からヒヤリハット管理を始め、委員の意識が高まってきたので、職員全体の意識向上に繋げたい。
広報・写真	<p>園内の壁面装飾と写真、ホームページの管理。</p> <p>園児の生活風景を写真として記録し、保護者も子どもの成長を感じられるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真の整理、注文 ・カメラ関係備品の管理 ・HPの更新 ・園内の壁面装飾 ・行事におけるスライド等製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ等の使用方法についてルールを定め、利用しやすくなった。 ・各委員が協力し、円滑に進められた。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
教 育	常に新しい知識・技能を吸収し、専門性の高い保育を目指すため、勉強会や研修を企画し実施する。 研修会等を通じて職員間の連携と情報共有を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じた園内研修 第1回グループディスカッション ユニット発表 第2回グループディスカッション 白雪の研修会参加 県内外の外部研修参加 	<ul style="list-style-type: none"> 職員全体で一つのテーマに取り組み考える事により、保育に対し共通理解を深め、知識や技能の向上に繋がった。 次年度は外部講師などを招いての講習も企画したい。
食 育	食育に関する年間計画を定め実施のサポートをする。 食物を育てる楽しさ、調理や食事の楽しさを味わう。 身近な食材に興味関心を持たせ、食物を大切に育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 食育実践の計画を立て、準備に携わる。(苗付、草取り等) 食育ひろば(掲示板)作成 食育だよりの発行。 給食で子どもの好きなおかずのレシピを印刷して、自由に持ち帰らせる。 食育のアンケートを配布、結果を報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> 食育便りでは、保護者へ関心を高められた。 食育ひろばをもっとうまく利用したい。 園児に向けた様々な食育をもっと発信していきたい。

特別養護老人ホーム高砂 事業報告

1. 利用者の状況

平成 27 年 3 月末現在

●特別養護老人ホーム(入所)高砂 平均在所期間 2年9ヶ月

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
沼津	7	10	10	19	15	61	3.4	50
御殿場	1	4	1	0	0	6	2	1
裾野	0	0	2	1	2	5	4.16	5
長泉	0	0	0	0	2	2	5	1
三島	1	1	2	0	0	4	2.25	2
その他	1	1	0	0	0	2	1	8
合計	10	16	15	20	19	80	3.2	67

●通所介護(デイサービス)高砂

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	1	1	6	8	2	1	0	19	1.63

2. 利用者・家族との連携

日頃から家族との会話を積極的に行い、忌憚のない意見を聞くことにより、家族との距離を縮め、より親しみある施設の構築に努めた。

面会の状況

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数
4	240	8	10	224	7
5	360	12	11	201	7
6	251	8	12	199	6
7	231	7	1	145	5
8	221	7	2	134	4
9	220	7	3	202	7
			平均	219	7

3. 苦情解決の取り組み

玄関前にご意見箱を設置 ご意見投稿件数 0件

4. 主な年間行事

本年度は外出を伴う機会(行事)を増やすことにより、利用者の皆様に季節を感じ又、気分転換を図ってもらえるような事業計画に重点をおき、地域の行事への参加も実施した。

行 事 内 容					
4	1～5日 お花見	10	30日～11月10日 文化展		
5	1日 創立記念バーベキュー	11	4・7日 菊華展		
6	2日・11日 すずらん温泉ツアー	12	14日 クリスマス会		
7	2日～6日 七夕祭り	1	1～4日 初詣、書初め		
8	3日 納涼祭	2	3日 豆まき		
9	12日 敬老会	3	12日・18日 いちご狩り		

5. クラブ活動の状況

日頃外出の機会の少ない利用者の皆様に少しでも楽しい時間を過ごしていただけるよう、クラブボランティアによる催しを定期的に行い、文化活動や娯楽の提供を行った。

内 容	指導員数	年間回数	内 容	指導員数	年間回数
カラオケ		60	書 道	1	44
体 操	1	45	歌	3	11
手 芸	1	39	傾 聴	5	8
詩 吟	1	12	大 正 琴	3	3
絵 手 紙	2	10	脳 ト レ	1	17
映画鑑賞		17	壁画制作	2	13

6. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月第2月曜日

出席者：施設長、事務長、院長、ユニットリーダー、デイ、看護師、クリニック

開催日	主 な 議 題
4月14日	・介護、診療報酬の実績報告 ・リーダーの心得 ・基本介護について
5月12日	・介護、診療報酬の実績報告 ・接遇について
6月9日	・介護、診療報酬の実績報告 ・リスクマネジメントについて
7月14日	・介護、診療報酬の実績報告 ・施設内の感染予防について
8月11日	・介護、診療報酬の実績報告 ・教育の心得
9月8日	・介護、診療報酬の実績報告 ・施設内の感染予防について
10月14日	・介護、診療報酬の実績報告 ・コストの削減について ・個別ケアについて
11月10日	・介護、診療報酬の実績報告 ・教養娯楽費の活用について ・施設内の感染予防について
12月8日	・介護、診療報酬の実績報告 ・年末の大掃除の実施について ・感染予防について
1月13日	・介護、診療報酬の実績報告 ・施設内の感染予防について
2月9日	・介護、診療報酬の実績報告 ・基本介護について ・感染予防について ・リーダー登用試験について
3月9日	・介護、診療報酬の実績報告 ・教養娯楽費の活用について

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：各ユニット職員、看護師、機能訓練指導員、生活相談員、栄養士

主な議題：個々の利用者様の状態について多職種の意見も聞く中で、よりその人に合ったケアを目指して意見交換を行った。

7. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議、勉強会にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
4月16日	沼津市特養連絡協議会 栄養士部会	管理栄養士	1
5月22日	老施協定例総会	施設長	1
6月9日	沼津市福祉施設連絡協議会	施設長 事務員	2
7月16日	沼津市特養連絡協議会 栄養士部会	管理栄養士	1
8月8日	第6回静岡県高齢者福祉研究発表会	理学療法士 介護職員	5
9月13日	第16回全国抑制廃止研究大会東京大会	介護職員 理学療法士	1 1
10月19日	H26年度「感染対策セミナー」	看護師	1
11月5日	社会福祉施設 感染症・食中毒予防講座	介護職員	1

月 日	内 容	職 種	人数
12月 7日	H26年度「感染対策セミナー」	看護師	1
1月 19日	第38回ユニットリーダー研修会	介護主任	1
1月 21日	沼津市特養連絡協議会 栄養士部会	管理栄養士	1
1月 27日	H26年度静岡県給食協会事例研究発表会	管理栄養士	1
2月 5日	H26年度福祉施設職員研修交流会	介護職員	1
2月 9日	H26年度静岡県老人福祉施設協議会 東部支部総会	施設長	1
2月 18日	介護保険改定セミナー	事務員	1
2月 23～27日	第38回ユニットリーダー研修会 実地研修	介護主任	1
3月 19日	労施協 26年度3月定例総会	施設長	1

8. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
業務改善	業務改善案を募り、検討する。採用の場合には実施をサポートする。	・審査会を2回行った。 ・合計26件の提案があった。優秀案件は表彰。	・提案件数が少なかった。 ・提案の呼びかけと提案内容の改善に努める。
広報・PC	施設の活動内容をご家族、地域の方々に広く周知する。 職員のパソコン技術向上を図る。	・毎月の高砂新聞の発行 ・パソコン勉強会開催	・新聞の定期的な発行ができた。今後も内容を充実させ発信していく。 ・PC技術向上のため勉強会を開催していく。
抑制・事故対策	安全でその人らしい生活を支援できるよう介護体制を確立する。事故防止の為に危険予知や危険を回避する能力を身につける。身体拘束について理解を深め見えない拘束を廃止。	・ヒヤリはっとの集計、事故対策会議での対策検討、事故防止の呼びかけ。 ・身体拘束に対して職員への意識付け。	・ヒヤリはっどについては十分理解されているが、事故防止の対策とスピーチロックについても積極的に今後も取り組んでいく。
行 事	行事を通して、利用者様に季節を感じて頂き生活への張り合いや変化を楽しむ機会を設ける。 地域行事に参加し、地域の交流を持つ。	4月花見 5月開設記念 7月七夕祭り 8月納涼祭 9月敬老会 11月菊華展・文化展 12月クリスマス会	・計画に対する実行がスムーズにできなかった。 ・今後は、計画内容を事前に周知し、職員の協力体制を充実させる。
感染衛生	労働安全法に基づき職場における職員の安全と健康を保持し、快適な作業環境の形成を促進する。施設内感染予防対策の計画、職員研修等を実施する。	・感染予防の啓発活動や感染予防の実践活動を行った。 ・職員の健康診断実施 ・利用者の健康診断の実施	・感染症が拡大することがなかった。感染症に対する知識を職員へ周知徹底していく。 ・腰痛予防やメンタルヘルス対応も行っていく。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
給食	栄養課業務の改善及び給食の内容充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 給食だよりを毎月発行 行事メニューの策定 実施献立の反省 嗜好調査 	<ul style="list-style-type: none"> 給食だよりの発行は定期的に来た。 実施献立の反省を食事提供に反映できるよう今後も行う。
防災	火災等の人的災害の予防、地震等の自然災害時の救助及び被害の軽減を図る。	毎月、さまざまな火災状況を想定し、消火活動や通報訓練、誘導訓練を行った。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様も参加してもらった訓練が少なかったため、今後は実際に近い形で訓練ができるようにしていく。 火災だけでなく様々な災害を想定して行っていく。
教育	職員の業務上必要な知識、技術の向上を図ると共に、施設内外の発表も積極的に行い、職員のスキルアップに繋がるよう、勉強会、研修会等を企画する。	4月 トランスファー 5月 接遇 6月 食中毒 7月 皮膚トラブル 8月 KYT 9月 認知症 10月 インフルエンザ・ノロウイルス 11月 口腔ケア 12月 ユニット発表会 1月 感染症のため中止 2月 スピーチロック 3月 心肺蘇生	<ul style="list-style-type: none"> 介護レベル(経験年数)にあわせた内容の勉強会を行っていく。
喀痰	胃ろう・吸引の必要な利用者様の状態把握をする。職員への知識技術の評価・指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、利用者様のカンファレンスを行った。 職員に対し評価・技術指導を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師がついて指導している。今後もカンファレンスを行い、利用者様の状態を把握した上で、実施していく。

フジ高砂クリニック 事業報告

1. 外来患者数

地域別外来人数は高砂、駿河台が大部分を占めていたが、高尾台、西熊堂、東熊堂、東沢田、松沢町、豊町方面へも拡大している。

インフルエンザの予防接種を外来患者、職員、利用者様へ計画的且積極的にを行い、地域、職場内での感染症予防に努めた。

本年度から肺炎球菌の予防接種と特定健診を始め、より一層地域医療に貢献した。

月	延べ患者人数	診察日数	月	延べ患者人数	診察日数
4	554	21	10	442	16.5
5	492	18	11	414	14.5
6	485	21	12	448	16.5
7	445	17	1	389	16.5
8	337	14.5	2	412	15.5
9	368	14	3	412	17.5
			合計	5,198	202.5

2. 健康教室の実施

健康教室を通しての新患の獲得と、地域におけるクリニックの認知度を高め、地域医療に貢献することを目的として行っている。毎月のテーマを決め、回覧板により近隣の皆様にお知らせしている。

月	内 容	月	内 容
4	肩 ～痛みはあるけどあがる～	10	肩 ～痛みは無いけど上がらない～
5	腰 ～腰を丸めると痛い～	11	腰 ～腰をそらすと痛い～
6	熱中症の予防と対策	12	膝 ～膝が伸びない～
7	膝 ～膝が曲がらない～	1	脂肪燃焼エクササイズ
8	股関節 ～痛くなるのは何故？～	2	股関節 ～骨盤が痛い～
9	首 ～回す、傾けると痛い～	3	カロリーと肥満の関係

3. 会議開催の状況

●クリニック会議

開催時期：毎月第2水曜日 出席者：施設長、事務長、院長、事務員、看護師、理学療法士
 主な議題：クリニックの収益増加、サービス向上を目指し、他職種での意見交換を行った。
 結 果：漢方薬の院内展示。本年度より特定健診、肺炎球菌の予防接種が実行できた。

4. 外部研修参加の状況

外部研修の内容については全体会議、勉強会にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
6月5日	特定健診説明会	事務職員 看護師	2 1
9月10日	予防接種説明会 (各予防接種の説明と副作用の発生時の対応)	事務職員	1
10月9、27、30日	静岡県がん医療地域連携交流会	医師	1
10月20日	沼津医師会 外科懇話会	医師	1
11月8日	産業医研修会	医師	1
11月10日	結核予防講演会	医師	1

月 日	内 容	職 種	人数
11月17日	乳がん勉強会	医師	1
11月20日	認知症学術講演会	医師	1
11月21日	沼津医師会 外科医会	医師	1
11月27日	沼津医師会学術講演会	医師	1
11月29日	産業医研修	医師	1
12月13日	救急、災害医療研修会	医師	1
12月19日	沼津医師会内科講演会	医師	1
1月24日	災害医学講習会	医師	1
2月 1日	静岡県医師会医事紛争防止研修会	医師	1
2月 6日	沼津市災害時救護所医療スタッフ研修会	医師	1
2月 7日	中部ロコモサイコソマ研究会	医師	1
2月12日	静岡関節症研究会	医師	1
2月20日	沼津医師会内科講演会	医師	1
2月28日	静岡県かかりつけ医うつ病対応力向上研修会	医師	1
3月 8日	エピペン注射処方医師登録講習会	医師	1
3月16日	東部しびれ研究会	医師	1
3月18日	予防接種説明会	事務職員	1
3月20日	沼津医師会内科講演会	医師	1

5. 医療安全と事故対策

活動目的	医療事故の発生を未然に防ぎ、患者様が安心して安全な医療を受けられる環境を整える。
活動内容	ヒヤリはっとの集計、対策の検討。随時、緊急事故対策会議
反省	次年度はヒヤリはっとの記入を徹底し、業務に活かしていく。 随時、細心の注意を払い業務を行う。 投薬ミスを防ぐためのダブルチェックの継続。

6. 年間治療項目

月	治療項目	月	治療項目
4～6	花粉症	11	インフルエンザ、特定健診 ノロウイルス対策
7～8	脱水症、特定健診	12	インフルエンザ予防接種 ノロウイルス対策
9～10	花粉症、特定健診	1～3	脳出血対策

特別養護老人ホーム・高齢者住宅なでしこ 事業報告

1. 利用者の状況

平成 27 年 3 月末現在

●特別養護老人ホーム

介 護 度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
富士河口湖町	1	1	8	11	8	29	3.8	68

●高 齢 者 住 宅

介 護 度	自立	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均	入居待機状況(人)
富士河口湖町	5			1	5	3		2	16	1.9	3
富士吉田市				1	2	3	1		7	2.6	1
大 月 市	1					2			3	2.0	
都 留 市		1		1	2	3	1		8	2.3	
西 桂 町				1	2		1		4	2.3	
山中湖村			2						2	0.0	
上野原市	1						1		2	2.0	
身 延 町								1	1	5.0	
東 京 都	1			2		1			4	1.3	
静 岡 県	1								1	0.0	
神 奈 川 県					1				1	2.0	
青 森 県					1				1	2.0	
長 野 県											1
合 計	9	1	2	6	13	12	4	3	50	2.0	5

2. 利用者・家族との連携

面会の状況 ●特別養護老人ホーム

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数	
4	157	5.2	8	184	5.9	12	106	3.4	
5	145	4.6	9	161	5.3	1	167	5.3	
6	177	5.9	10	178	5.7	2	149	5.3	
7	189	6.0	11	190	6.3	3	188	6.0	
							平均	165.9	5.4

面会の状況 ●高 齢 者 住 宅

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数	
4	198	6.6	8	213	6.8	12	209	6.7	
5	210	6.7	9	226	7.5	1	228	7.3	
6	202	6.7	10	228	7.3	2	163	5.8	
7	192	6.1	11	198	6.6	3	228	7.3	
							平均	207.9	6.8

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域交流スペース利用状況

月	内 容
4	毎週木曜日/健康科学大学生体操教室 毎週金曜日/歌体操 10日/運営推進会議 (H26年度活動計画)
5	毎週木曜日/健康科学大学生体操教室 毎週金曜日/歌体操 25日/カラオケ教室 28日/勉強会
6	毎週木曜日/健康科学大学生体操教室 毎週金曜日/歌体操 12日/運営推進会議 (心肺蘇生法講習会) 25日/勉強会 29日/カラオケ教室
7	毎週金曜日/歌体操 4日・27日/ボランティア交流会 20/カラオケ教室 23日/勉強会
8	毎週金曜日/歌体操 9日/運営推進会議 (納涼祭) 22日/芦花中学校訪問交流会 24日/カラオケ教室 27日/勉強会
9	毎週木曜日/健康科学大学生体操教室 毎週金曜日/歌体操 15日/敬老会 24日/ユニット発表会 28日/カラオケ教室
10	毎週木曜日/健康科学大学生体操教室 毎週金曜日/歌体操 9日/運営推進会議 (認知症サポーター研修) 22日/勉強会 26日/カラオケ教室
11	毎週木曜日/健康科学大学生体操教室 毎週金曜日/歌体操 3日/文化祭 23日/カラオケ教室 26日/勉強会 19日/ボランティア交流会 (トーマスヴィンクラットバイオリンコンサート)
12	毎週金曜日/歌体操 17日/クリスマス会 26日/餅つき大会
1	毎週金曜日/歌体操 21日/ノロ感染予防研修会 28日/勉強会 (外部講師) 25日/カラオケ教室
2	毎週金曜日/歌体操 3日/豆まき 5日/運営推進会議 (メンタルヘルス講習会) 22日/カラオケ教室 23日~/ひな人形飾り 25日/勉強会 (外部講師)
3	毎週金曜日/歌体操 14日/介護報酬改正家族説明会 18日/おはぎ作り 25日/勉強会 (外部講師) 29日/カラオケ教室

4. 情報公開の取り組み

玄関入り口に運営規程、重要事項説明書の掲示を行っている。

5. 苦情解決の取り組み

玄関前にご意見箱を設置 ご意見箱件数 平成26年度 なし

6. 主な年間行事

月	行事内容
4	11・14・16・24日 お花見
5	11日 開設2周年記念行事 大道芸
6	18日 ボランティア交流会 林ヤートコ踊り保存会 30日 ハーブフェスティバル見学
7	2・3・11日 ハーブフェスティバル見学 7日 七夕飾り
8	5日 河口湖湖上祭見物 9日 納涼祭 22日 ボランティア交流会 東京都蘆花中学校軽音楽部演奏会
9	15日 敬老会 たんぽぽ劇団 26日 外食ツアー 寿司華
10	7日 秋の味覚を食べよう会 (サンマバーベキュー) 28日 外食ツアー 中華を食べようバーミアン
11	1～30日 第1回文化祭 3日 文化祭芸能発表 なでしこ合唱団、小立民生委員 15日 外食ツアー 御殿場デニース 19日 ボランティア交流会 トーマスヴィンクラットバイオリンコンサート
12	17日 クリスマス会 サンマミーコーラス、白須茂夫ジャズ演奏 26日 もちつき大会
1	14日 小正月行事 もちばら作り
2	3日 節分行事 21日 ボランティア交流会 おやじバンドいちろうさんとサンペール
3	3日 ひな祭り 26・27日 河口湖美術館 富士山写真大賞展鑑賞
その他	毎週火曜：ペン習字教室 毎週木曜：健康科学大学生健康体操 毎週金曜：歌体操 毎月第4日曜：カラオケ大会

7. 会議開催の状況

●管理会議

開催時期：毎月第4木曜日

出席者：施設長、高齢者住宅サービスマネージャー、生活相談員、事務員、
ユニットリーダー、はまなす訪問介護責任者

議事内容：ユニット会議・委員会の報告、事務連絡、グループ内連絡事項確認

●全体会議

開催時期：毎月第2木曜日

出席者：全職員

議事内容：各ユニット、各委員会、各部署より報告、施設内連絡事項伝達

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：各ユニット職員、生活相談員、看護師、栄養士、介護支援専門員

議事内容：ケースカンファレンス、業務見直し、ユニット行事計画

●各種委員会

開催時期：各委員会月1回 出席者：各委員会職員

議事内容：各委員会の年間計画、目標に沿って話し合い

●給食会議

開催時期：毎月第3木曜日

出席者：委託業者管理責任者、施設長、高齢者住宅サービスマネージャー、栄養士、
ユニットリーダー

議事内容：食事に関するヒヤリ・はっとの分析、メニュー、食材についての意見交換

●リーダー会議

開催時期：毎月第3水曜日

出席者：施設長、生活相談員、ユニットリーダー

主な議題：各ユニットからの報告、職員の指導、入居者の処遇、勤務について

●運営推進会議

出席者：富士河口湖町介護保険係長、地域包括センター長、七軒町自治会、民生委員、
ご家族、第三者委員、施設長、生活相談員

開催日	内容
4月10日	H26年度活動計画について
6月12日	心肺蘇生法講習会（富士五湖消防本部）
8月9日	納涼祭見学
10月9日	認知症サポーター研修
12月11日	メンタルヘルス講習会→感染症発生の為、中止
2月12日	メンタルヘルス講習会・H26年事業報告

8. 外部研修参加の状況

月日	内容	職種	人数
4月28日	介護認定調査員新規研修	介護支援専門員	1
5月12～14日	ユニットリーダー研修	介護員	1
5月14日	レクリエーション講習会	介護員	1
5月19日	初任者対象ビジネスマナー研修	介護員	1
6月5日	口の中の健康管理と嚥下障害	生活相談員 介護員	1 3

月 日	内 容	職 種	人数
6月17日	学ぼう！福祉介護施設の安全対策	看護師	1
6月20日	お年寄りの排泄問題とそのお世話	看護師 介護員	1 1
6月20・25日 7月4日・9月4日	認知症介護実践研修	生活相談員	1
6月23～27日	ユニットリーダー実習	介護員	1
6月26日	ケアマネ研修	介護支援専門員	1
7月9日	認知症実践研修(他施設実習)	生活相談員	1
7月10日	終末期のお世話	看護師 生活相談員 介護員	1 1 2
7月15日	自立を促すリハビリテーション	看護師 介護員	1 2
8月20日	終末期のからだと心のケア	介護支援専門員	1
8月27日	地域密着型サービス事業所集団指導	施設長 事務員	1 1
9月9日	お年寄りの排泄問題とそのお世話	介護員	2
9月18日	介護給付費等のインターネット請求	事務員	1
10月15日	富士北麓地域介護支援専門員研修	介護支援専門員	1
10月16・17日	H26年度喀痰吸引等指導者養成講習	看護師	1
10月21～12月26日 のうち11日間	介護職員等による痰の吸引等の実施のための研修	介護支援専門員	1
3月11日	山梨県高齢者権利擁護等看護実務者研修会	看護師	1

9. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
生 活	博友会の理念のもと“長生きしてよかった”のお手伝いとして入居者様がより良い生活を送れるよう季節にあった行事・風習を生活に取り入れる。	4月 お花見ドライブ 5月 開設2周年記念行事 6月 ハーブフェスティバル 7月 七夕飾り 8月 納涼祭 9月 敬老会、おはぎ作り 10月 秋の味覚を食べよう会 11月 文化祭 12月 クリスマス会、餅つき大会 1月 もちばら作り 2月 豆まき 3月 ひな祭り、ぼたもち作り	・行事計画はスムーズに行えたが、報告書の提出がなかなか定着しなかった。 ・課題として、計画から報告書の提出までの流れの確認と担当者としての責任を持たせる。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
処遇改善・ 事故防止	介護事故を防止し、適切な質の高い安心・安全なサービスを提供する体制を確立する。 入居者様の尊厳を守り、自立した生活が送れるように各専門職の知識、技術を高め質の高いケアを目指す。	ヒヤリ・はっと件数 4月 190件 5月 199件 6月 742件 7月 648件 8月 437件 9月 499件 10月 389件 11月 419件 12月 321件 1月 561件 2月 346件 3月 203件 総数 4,954件 事故報告件数 37件 入院事故件数 1件	・事故報告書の提出が遅れてしまう方がいたので声掛けしていく。 ・事故とヒヤリの基準があいまいだったので事故評価表を作成していく。 ・事故が起きた時人によって対応方法がそれぞれだったのでマニュアルを把握していただく。 ・事故検証シートが無いので作成していく。
防災・設備	①防災規程改正 ②防火管理組織、自衛消防隊の編成及び活動 ③施設及び防災設備の改善・強化 ④入居者及び職員に対する防災教育・防災訓練 ⑤災害に必要な食料、飲料水の備蓄 ⑥入居者・職員に対する避難誘導 ⑦その他、防災上必要事項の調査	4月 緊急時の持出しファイル作成、防災品備蓄、自主点検 5月 連絡網の見直し、発電機の確認。 6月 消火栓、公用車の使い方勉強会 AED 講習 7月 自主点検 8月 委員会開催時間変更 総合避難訓練実施 9月 消防署立会総合避難訓練実施 10月 避難訓練の反省、夜間伝達訓練の周知 自主点検 11月 夜間伝達訓練実施、反省 12月 夜間呼集訓練実施 1月 連絡網の改正、雪かき 自主点検実施 2月 防災備品チェック 3月 引継ぎ及び書類整理	・伝達訓練をこまめに行うべきだった。 ・避難訓練時の車椅子操作方法の指導を強化していく。 ・夜間のみでなく日中も伝達や呼集を行って生きたい。 ・施設の設備に関する活動を行っていく。 ・自然災害時の委員会の動きを明確にしていく。簡易的なマニュアルの作成。
感染対策	①感染症の基礎知識を学ぶ。 ②感染症予防マニュアルの作成。 ③感染予防に対する職員の危機管理意識を高める。 ④感染症が発生した時の対応、マニュアルの見直し。 ⑤トピックスの作成。	・感染症の種類、特徴、予防方法の種類についての資料作りと配布 ・うがい手洗いの指導・実施 ・清掃方法、吐物処理、食器類の対処について実践学習 ・季節性感染症の勉強会実施 ・ラウンドの実施	・ノロウイルスの感染者出てしまいました、感染対策の再度見直しを行いました。 ・うがい、手洗いの意識を高めるため、声掛けをたえず行っていく。 ・ラウンドを通し感染に対する危機感をもっと持ってもらえるよう情報提供をしていきたい。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
嚥下・摂食	食事を楽しみと思い口から美味しく安全に食べて頂く為に“姿勢・道具・食形態咀嚼までの一連の動作”を検討する	10月より活動開始。 ・ユニットで口腔内や食形態で心配な方リストアップ ・歯科医、歯科衛生士往診時同行及び経過観察 ・ユニット、口腔ケア状況確認 ・はまなす嚥下PJ参加(3月迄)	・個々に合った口腔ケアの仕方が分からなかったり、口腔ケアの徹底がされていなかった為各ユニット毎月、目標を立て取り組んでいく。 ・ユニット、看護師、相談員他職員間の申し送り等不足が多く体制を整える事が必要だと感じた。 ・入居者様に美味しく安全に食べて頂く為に小さな変化でも気づき、すぐに対応できるように努めたい。
看取り	利用者様が人生の終焉を迎えたときにご本人及びご家族等の意向を尊重したケアを実施する事で安らげる環境を提供し、その人がその人らしく平穏に過ごすことが出来る様に援助する。	11月より活動開始。 ・各種書類の作成 ・看取り対象者の対応等について話し合い。 ・必要物品の準備 ・看取り実施者の振り返り	・職員全体的にまだまだ勉強不足であり、実施するまでにとまどいがある。 ・多職種の連携、ユニットへの申し送り等不足することが多く体制を整えることが必要だと感じた。 ・同グループで看取りを実施している施設へ勉強へ行かせていただき、疑問を残さないで入居者様へ関わられるように努めていきたい。

特別養護老人ホーム・ケアハウスすずらん 事業報告

1. 利用者の状況

平成26年3月現在

●特別養護老人ホーム(入所)すずらん 平均在所期間 新型：2年4ヶ月、従来型：2年3ヶ月

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
御殿場市	7	16	38	20	11	92	3.13	143
小山町	3	3	10	8	5	29	3.31	43
裾野市	0	2	0	6	0	8	3.50	8
その他	4	3	9	4	1	21	2.76	40
合計	14	24	57	38	17	150	3.18	234

●短期入所生活介護(ショートステイ)すずらん

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	0	0	11	17	17	11	3	59	2.63

●通所介護(デイサービス)すずらん

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	2	2	18	18	9	8	2	59	2.08

●ケアハウスすずらん(特定入所) 平均在所期間 11.6ヶ月

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
御殿場市	4	5	14	9	4	0	0	36	1.22
小山町	0	1	2	3	0	1	0	7	1.71
裾野市	1	2	2	0	1	0	0	6	0.83
その他	6	3	10	8	0	4	0	31	1.35
合計	11	11	28	20	5	5	0	80	1.28

入所調整状況

御殿場市	2
小山町	1
裾野市	0
その他	0
合計	3

●ケアハウスすずらん(一般入所) 平均在所期間 10.8ヶ月

入所者数		入所調整状況
御殿場市	12	1
小山町	2	0
裾野市	1	0
その他	5	0
合計	20	1

2. 利用者・家族との連携

面会の機会などを通じて、利用者・入居者様本人はもとより、そのご家族様に施設へのご理解をいただき、また、素直なご意見をいただくため、日頃より家族とのコミュニケーションを図るよう努めた。

面会の状況 (月)	特別養護老人ホームすずらん		ケアハウスすずらん	
	月延べ件数	1日平均件数	月延べ件数	1日平均件数
4	689	23	278	9
5	740	24	352	11
6	688	23	349	12
7	694	22	335	11
8	624	20	303	10
9	569	19	311	10
10	590	19	378	12
11	886	30	258	9
12	491	16	254	8
1	589	19	323	10
2	324	12	178	6
3	532	17	268	9
平均	618.0	20.3	298.9	9.8

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域住民との交流を図るため、地域交流センターを使用して、近隣保育園との交流会を開催したり、また納涼祭やコンサートでは、地区住民に対して広くご参加を呼びかた。加えて、多くの地域住民の方にすずらん温泉を利用していただいた。

●地域交流センター利用状況

催 し 事	月	内 容
	4	13日 勝又静雄さんのすずらんショー、20日 公時大富士太鼓
	6	5日 日本舞踊
	7	6日 マジッククラブのマジック&フラダンスショー、10日 高根第2保育園交流会
	8	10日 フラダンスクラブのフラダンスショー、13日 琴城流大正琴の大正琴演奏会、26日 沼津交響楽団ミニコンサート
	9	11～13日 敬老会、19日 ハンドベル演奏会
	10	5日 ハーモニカ演奏会のすずらん演奏会、26日 高根歌謡楽座の高田彰歌謡ショー
	11	13日 ふじかわ健さん歌謡ショー、16日 津軽三味線の演奏会
	12	6日 インマヌエルのコンサート、11日 華の会の歌謡ショー、28日 餅つき大会、14日 クリスマス会(ふじかわ健さん歌謡ショー)、25日 ロッキーイワタ訪問販売
	3	1日 ローカルサンドクラブ演奏会、11日 ふじかわ健さん歌謡ショー
視 聴 覚 機 器 利 用	月	内 容
	3	10日 御殿場市福祉環境委員会視察
	5	28日 三島市民生員児童委員広報部会視察
	7	17日 給食協会御殿場支部栄養衛生管理研修会
	10	23日 原里地区神場地域福祉推進委員会

●すずらん温泉 露天・内風呂利用状況

月	男性延べ人数	女性延べ人数	合計	月	男性延べ人数	女性延べ人数	合計
4	134	68	202	10	105	39	144
5	160	67	227	11	82	24	106
6	151	34	185	12	72	24	96
7	116	33	149	1	81	30	111
8	73	29	102	2	80	33	113
9	79	30	109	3	98	57	155
				合計	1,231	468	1,699

4. 情報公開の取り組み

玄関入り口付近の棚に、重要事項説明書、事業報告書、決算書、事業計画書、予算書のファイルを設置し、利用者・入居者様、ご家族様、来館者が常時閲覧できるようにしている。

5. 苦情解決の取り組み

苦情受付担当者、生活相談員、その他の関係職員と連携を取り、苦情受付・対応・記録・解決を迅速に行えるようにした。その結果、年間を通じて8件の苦情を受け付けたが、全て解決に至った。また玄関入り口付近にご意見箱を設置し、利用者様およびそのご家族様から、施設の運営に関わるご意見をいただけるよう努めたが、苦情に至るご意見は見られなかった。

6. 主な年間行事

本年度は、同法人 5 の特別養護老人ホーム白雪の年間行事を手本にして、利用者の生活の質の向上に努めた。また職員においても行事運営に慣れることに視点を置いた。

月	行事内容
4	8～14日 お花見鑑賞会
5	7～31日 つつじ鑑賞会
6	3・4・6日 特養バーベキュー大会、5日ケアハウスバーベキュー大会
7	1～7日 七夕祭り、10日高根第2保育園交流会
9	1日 開設記念行事、12～13日 敬老会
11	1日～適時 紅葉鑑賞会
12	14日 クリスマス会、28日餅つき大会
1	1日～適時 初詣
2	3日 節分豆まき

7. クラブ活動の状況

クラブ活動指導員(ボランティア)と提携し、定期的な活動を行った。

内 容	指導員数	年間回数	延べ参加人数
カラオケ	1	48	1,175
カラオケ体操	2	26	953
映画鑑賞		38	771
書道教室	1	32	492
大正琴	4	11	434
詩吟教室	1	14	421
語り手の会	1	2	63

8. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月第2月曜日を予定

出席者：施設長、事務長、介護長代理、ユニットリーダー、ショートステイリーダー、デイサービスリーダー、看護師リーダー、営繕リーダー、管理栄養士、機能訓練指導員代表、生活相談員、施設ケアマネジャー、事務員

開催日	主 な 議 題
4月 8日	・リーダー抱負発表 ・超過勤務申請書の手続および提出の規程について ・勉強会参加における取決めについて ・地域交流スペースでの見守り体制について ・ユニット調理、選択メニューの取決めについて ・教養娯楽費の規程について ・全体会議の出席について
5月 13日	・夜間緊急連絡マニュアルの規程について ・新職員フォローアップについて ・委員長会議議事録の閲覧確認について ・教養娯楽費、預かり金規程の再確認について ・車椅子の破損原因について
6月 10日	・カーデックスの修理について ・白雪で行われる介護福祉士勉強会について ・須走中学校福祉体験について ・ロッキーイワタの訪問販売について ・ユニット調理の取り決めについての確認 ・不在者投票について
7月 8日	・夏期休暇取得の規程確認について ・外出行事の取り決めについて ・空調調整の取決めについて ・不在者投票の再確認
8月 19日	・業務改善の提案について ・おむつ等の物品使用の取り決めについて ・ヒヤリはっと、介護事故の発生について ・夏祭りの開催について ・車椅子の点検、清掃について ・汚物室への汚物の出し方について
9月 9日	・前期賞与に関わるヒアリングについて ・外部講師による勉強会の打合せについて
10月 15日	・御殿場市介護福祉課職員の見学について ・超過勤務整理簿の改変について ・県の実地指導について ・浄化槽への不溶物流入について ・厨房の直営化について
11月 11日	・厨房の直営化について再確認 ・県の実地指導の結果について ・博友会忘年会開催事項について ・施設ワックスがけについて
12月 9日	・ヒヤリはっと用紙の変更について ・勉強会、全体会議等の出席率低迷について
1月 14日	・勉強会、全体会議等の出席についての再確認 ・口腔ケアの実施実態について ・事故報告書の掲示について ・利用者、入居者の生活風景の撮影について ・修理願書の提出規程の徹底について ・シーツ交換後のブレーキかけ忘れについて
2月 10日	・教養娯楽費、預かり金の年度末処理について ・ユニットリーダー登用試験について ・後期賞与とヒアリングについて ・次年度予算案の提出について ・勤務表作成時の注意事項について ・ユニットの目標作成について
3月 10日	・来年度に向けてのユニット引き継ぎについて ・後期ヒアリング再確認 ・浄化槽の不溶物の再度報告 ・来年度に向けた入居者のADL確認について ・大雪対応マニュアルについて ・ユニット職員異動について

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：施設長、介護長代理、各ユニット職員、看護師、機能訓練指導員、生活相談員、施設ケアマネジャー、管理栄養士

主な議題：利用者の介護支援、生活の質の向上などを目的に、他職種の意見を参考にしながら、更なるケアの充実に向けて会議を開催した。

9. 外部研修参加の状況

外部研修の内容については、全体会議や勉強会にて報告を行い、資料については回覧を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
5月13日	介護支援専門員連絡協議会	介護支援専門員	1
5月22日	静岡県老施協定例総会	施設長	1
5月23日	御殿場市衛生講習会	管理栄養士	1
5月26～27日	静岡県作業療法学会	作業療法士 施設長(作業療法士)	1 1
5月29日	居宅介護支援事業意見交換会	生活相談員 施設長	1 1
6月11日	接遇マナー研修会	生活相談員	1
6月12日	静岡県老施協議会	施設長	1
6月13日	静岡県ふじのくに型障害福祉サービス事業説明会	施設長	1
6月28日	御殿場市生活相談員研修会	生活相談員	1
7月30日	静岡県高齢者福祉研究大会	理学療法士 介護職員	1 3
8月29日	御殿場市給食協講演会	管理栄養士	1
10月15日	静岡県介護力向上研修会	介護職員 理学療法士	2 1
10月21日	静岡県苦情解決研修会	生活相談員	2
11月16日	感染対策セミナー	看護師 介護職員	1 1
12月14日	現場で活用できる医学知識研修会	介護職員 作業療法士 生活相談員	2 1 1
1月23日	看取り介護実践フォーラム	介護職員	1
1月25日	静岡県福祉避難所研修会	営繕 理学療法士	1 1
2月24日	高齢者の転倒予防講座	介護職員	1
2月26日	成年後見制度推進シンポジウム	生活相談員	1
3月 2日	ターミナルケア講習会	看護師	1
3月 7日	福祉・医療専門職向けスキルアップ講座	介護職員	2

10. 委員会事業報告

毎月1回又は2回、各委員会メンバーにより委員会を開催し、委員会の運営に従事した。加えて抑制・事故対策委員会には特養とケアハウスの両施設長が毎回参加し、委員長と共に委員会の運営指揮に当たった。また他の委員会においても、委員長が必要性を認める場合は、施設長が委員会に参画した。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
教 育	職員1人1人の資質向上につながるよう毎月の勉強会、ユニット発表等を通じて積極的に働きかけていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会：毎月、各委員会や外部講師により業務に関わる内容で実施 ・7月と1月にユニット発表会をPC委員会協力の元、開催 ・外部研修：計14件 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会の出席率向上のため、更なる委員の積極性が求められる。 ・勉強111会の曜日や時間帯の見直しが必要なのかもしれない。 ・実務的な勉強会を増やし、スキルアップを目指していきたい。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
広報	すずらんの話題を、すずらん新聞やグループ情報誌を通し、利用者やご家族、職員及び、地域の高型に提供する。	グループや社協との連携・情報交換(アブニール・納涼祭のポスター作成等)を行ったり、すずらん新聞の月1回の定期発行を行った。	<ul style="list-style-type: none"> 各ユニットの紹介が間に合わなかった為、各ユニットに協力を仰ぎ紹介していけば良かった。 新聞の作成者が偏ってしまった為、まんべんなく各委員に回していくべき。 新聞作成者以外はその月に全く関わる事が無かった為、皆で毎月作っていけるようにしたい。
業務改善	すずらんの全職員が業務の改善に取り組み、サービスの向上、能率の良い業務の実現により、すずらんの活性化を促進する。	<ol style="list-style-type: none"> 日々の改善活動を推し進めるために、前期・後期の強化月間を廃止し、毎月業務改善を受け付ける事とした。 <ul style="list-style-type: none"> 毎月の委員会で各ユニットの業務改善を発表、内容を検討することで、メンバーのスキルアップ並びに担当ユニットへの水平展開を図ることができた。 改善活動の啓蒙としてポスター作成、各ユニットに掲示した。 通用口に各ユニットの改善提案提出件数をグラフにして掲示した。 平成25年度提出件数65件 審査会、褒賞式の開催 <ul style="list-style-type: none"> 上期38件中3級1件 努力賞18件 下期20件中3級2件 努力賞14件 下期審査会以降の提案提出7件は次年度審査へ繰越し 	<ol style="list-style-type: none"> 委員会出席率が低かった。 <ul style="list-style-type: none"> 業務のため出席できない→翌月の勤務表作成時にリーダーに配慮してもらう。 ユニットにより提出件数に差があった。 <ul style="list-style-type: none"> 周囲への働きかけが足りなかった。 委員の欠席が目立つユニットは件数が少ない。 提案内容のレベルが低いものが多かった。 <ul style="list-style-type: none"> 何を書いて良いのか分からない、記入の仕方が分からない。→教育により委員会メンバーの理解を深める。
抑制禁止 ・ 事故対策	介護事故を防止し、安全でかつ適切に質の高い介護を提供する体制を確立する。また、安全な介護の提供により、利用者様との信頼関係を築き、紛争の防止に努める。KYT・スピーチロック教育。	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリ・はっと、事故報告の集計とアセスメント 勉強会年2回開催 ※スピーチロックについて ※KYTについて 緊急の事故対策会議開催 <p>(ヒヤリはっと件数は別表)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新ユニット編成後、転倒・誤薬の事故が増加したが、少しずつ減少している。 事故が起こった後に緊急の事故対策会議を開催し、原因追求、それに対する対策を立てているが、その対策が効果的に行われているのか、継続して実施されているのか確認が中々行えていなかったため、来年度は対策に対する確認を行っていききたい。 ヒヤリ・はっと用紙を今年になり変更し、事故とヒヤリ・はっとの区別が行えるようになってきた。まだ、3か月程しか実施していない為今後見直しを行っていかなければならない。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
行事計画	毎月の行事を通じて、利用者様に季節感を感じて頂き、日々の生活の中での張り合いや楽しむ機会を提供し、施設での生活を楽しんでいただく。また、地域との交流を行い、地域住民との輪を広める。	4月 花見 5月 つつじ鑑賞 6月 バーベキュー 7月 七夕園児との交流 8月 納涼祭 9月 敬老会、開設記念 10月 軽音楽会 11月 紅葉鑑賞 12月 クリスマス会 もちつき大会 2月 豆まき	<ul style="list-style-type: none"> ・行事計画の取り掛かりが遅くなり、伝達や準備が直前になってしまった。 ・行事職員・施設職員の行事に対する意識や協力性が全体的に低く、一部スタッフの負担になってしまった。 ・委員会を忘れていた為、出席率が悪かった。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の行事の反省はもちろんだが、まず委員会の出席率が悪く、話し合いにならない。 ・委員長・委員がリーダー会議に出席し、委員会日時を伝え、勤務調整をしてもらう。また今後の行事日程を伝える。協力性についても同様にリーダー会議、全体会議で行事の参加を呼び掛けていく。
感染対策	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内感染症予防の計画・立案 ・教育、研修必要な措置の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会(食中毒・インフルエンザ・ノロウイルス) ・ポスター作成(食中毒・インフルエンザ・ノロウイルス) ・ユニット内物品チェック、手洗い指導 ・職員感染症意識アンケート ・食中毒対策調査 ・感染対策用品の管理 ・外部セミナーの参加 	<p>反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内でインフルエンザが流行してしまった。⇒発生以後の対応方法(隔離を含めた)を職員全体にもっと周知徹底を促す。休日・生活態度を見直し、しっかり予防をするように促す。地域での流行情報を早めに確認する。こまめな手洗い、うがい、消毒をする。必ずマスクをするように促す。 ・ユニット内物品チェックをし、マスク・消毒液などの設置を声かけしたが、その後補充、設置されていないユニットがあった⇒職員全体に感染予防に対する意識をもっと高めていく必要がある。チェックしてもらえるようにこまめに声掛けを行う(流行時期以外にも)。チェックリストやマニュアルを作成する。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防について職員全体の意識がまだ低いので高めていけるようにしていきたい。 ・リスクが高いので自分自身を守る為にも感染予防がとても大切だと再確認していけるような活動をしていきたい。

	活動目的	活動内容	反省及び課題
給食	①利用者給食の内容充実を図る ②選択メニューやユニット調理を充実させ、喫食者の満足度向上につなげる	<p><定例委員会にて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケア・摂食嚥下に関する勉強会（歯科・大庭先生） ・実施献立の反省・検討 ・ユニット調理メニュー考案・検討 ・誕生日献立メニュー考案・検討 <p><その他の活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すずらん食堂だより」の作成・発行（月1回）⇒挨拶文およびフリーテーマは担当制 ・5月嗜好調査の実施 ・2～3月選択メニュー実施状況調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケア・摂食・嚥下の勉強会については年間計画が不十分であった。 ・職員に口腔ケアの知識、必要性が浸透していないと感じる。 ・嗜好調査は管理栄養士ばかりでなく担当を割振り実施すればよかった。 ・ユニット調理メニューのマンネリ化。 ・誕生日献立の検討では積極的な提案・発言が少なかった。 ・利用者目線での話し合いの場が持てたことは良かった。 ・次年度以降、今以上に利用者にとって食べやすい食事（食形態や使用食材、切り方等）について積極的な議論をしていきたい。 ・選択メニュー実施状況調査の結果を次年度の選択メニューへ反映し、内容の充実化や実施方法の見直しを行っていきたい。
安全衛生	労働安全法に基づき、職場における職員の安全と健康を保持し、快適な作業環境の形成を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生管理点検表による定期的点検 ・利用者の水分摂取月間の設定 ・職員休憩場所周知 ・健康診断の実施 ・職員健康管理の取組み ・光熱費削減活動 ・安全運転の呼びかけ 	職員の腰痛予防の勉強会実施や、職員の喫煙マナーへの取り組みが不十分であった。また委員の出席率の低迷について、本人の意識、勤務作成上の配慮が重要である。
看取り	看取り介護・看護を理解し、看取りに向けての準備・体制を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りの基礎学習のため、DVD鑑賞 ・外部研修で看取り学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設での看取り方針や方向性を明確に打ち出すことにより、具体的な行動計画に反映する。 ・すずらんで看取りが出来るよう施設長、職員と協同し体制を整えていく。
P C	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの使用方法を伝達し、ユニット発表の質の向上の一助にする ・ワード、エクセル、パワーポイントが使用できるように職員のスキルアップの手伝い 	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回 office (word・excel)の講習会開催 ・ユニット発表でのpowerpointの作成の手助けをする ・ユニット発表の開催を教育委員会とともに行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回の講習会が周知が少なく参加者が少なかった。来年度は各ユニットへの連絡を多くし、いつどこでやるかを分かるようにしたい。 ・具体的に「〇〇表の作成について」等にして職員のスキルアップに協力していきたい。

	活動目的	活動内容	反省及び課題
防 災	<ul style="list-style-type: none"> ・災害等に依る人的災害の予防と自然災害時(地震等)の救助および被害の軽減を図る。 ・主に日常生活のいろいろな場面を想定して訓練を行う。 ・防災用具等の使用方法と効果を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年4月～平成26年3月まで防災委員会1回/月 実施 ・5月9日 消火器・消火栓を設置配置図を委員で全館点検実施 ・5月20日特養棟非常階段・螺旋滑り台を使用した避難・誘導訓練 20名参加 ・6月24日ケアハウス棟の非常用螺旋滑り台を使用した避難・誘導訓練 16名参加 ・緊急連絡網を使用した夜間での通報訓練 80名 消火器取扱い訓練 ・8月30日消火散水栓の取り扱い及び放水訓練 ・10月16～31日 消防署へ出向き、総合防災訓練3回事前打ち合わせ。消防署の指導に基づき、事前訓練3回実施 ・11月1日 総合防災訓練「社会福祉施設防災の日」 508名参加。 情報伝達訓練・消防設備の操作及び消火訓練(消火器・放水栓訓練)、応急対策訓練(救護所での処置)・各階ベランダへの避難誘導訓練 ・2月25日消火散水栓の取り扱い及び放水訓練 20名参加 ・3月17日緊急連絡網を使用した夜間での通報訓練 109名参加(有事を想定) 	<p>反省点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の出席率が、良くなかった。 ・防災訓練の参加者が少なく、同じ顔ぶれだった。 ・最新の緊急連絡網の把握が遅れた。 ・避難マニュアルのようなものが無かった。 <p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の内容の充実(消防本部予防課主催)を図る。 ・防災備品の充実を図る(施設・ユニット毎) ・職員をはじめ利用者様の防災意識への向上を図る。 ・防災訓練へ出席を促す為に日時・声かけを実施する。 ・降雪時等のマニュアルの作成検討。
飼育 ・ 園芸	<p>施設内での利用者の生活の中に動植物とのふれあいや接する機会を設けていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動の土台作り ・各ユニットにプランターを設け、植物を育てる ・ケア棟では野菜を育てた ・ボランティアの受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通し活動があいまいであった。 ・利用者参加型の活動が少ない。次年度はクラブ活動的な事を行っていく ・園芸・農耕スペースを設けていきたい。 ・アニマルセラピー的な活動を委員会の中で1から考え、ボランティア等含め行いたい。

以上